

第1部講演会 講演タイトル・要旨

講演 1

タイトル：地震活動と火山噴火が活発な日本列島と九州・沖縄地方

要旨：地震と火山噴火は地球を覆うプレートの運動と密接に関わっていることが知られています。海のプレートが陸のプレートの下に沈み込む地域に位置する日本列島周辺では、地震が多く発生します。同時に、多数の活火山も分布しており、ここ数年も、日本列島の各地で火山噴火が相次いでいます。日本列島のなかでも特に九州地方では、太平洋側の沖合で大きな地震が繰り返し発生することが知られているうえ、日本列島の広い地域に影響を及ぼすような破局的噴火を引き起こしたことがある巨大な火山が多数存在しています。南西諸島で起こる地震や海底火山にも注目が集まっています。地震・火山噴火とはどのような現象なのか？九州・沖縄地方にはどのような地震・火山が存在するのか？など、地震・火山活動について皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

研究生生活紹介

タイトル：研究生生活をのぞいてみよう！

要旨：JAMSTEC の研究者はどんな研究生生活を送っているのでしょうか？船に乗って調査へ向かうこともあれば、調査で採取した岩石を分析したり、観測データをじっと眺めては、解析したり。そして、地道な努力の末に得られた研究成果を学会やイベントで発表しています。ここでは、ほんの少しだけ、そんな研究生生活をご紹介します。

講演 2

タイトル：鬼界カルデラってなに？～総合調査で探る巨大海底カルデラ～

要旨：鬼界カルデラは鹿児島県薩摩半島の南約 50 km の沖にある巨大な海底カルデラ火山で、約 7300 年前には東北地方にまで火山灰が積もるほどの破局的噴火を起こしました。JAMSTEC では鬼界カルデラをより深く理解するために総合調査を行っています。講演では海底の調査からこれまでに起きた噴火を詳しく調べる研究、海底地震計を使って現在のマグマの状態を調べる研究、そして最新の火山活動モニタ法開発の研究を紹介します。

講演 3

タイトル：南西諸島の海底下を探る ～南海トラフとは違う？～

要旨：南西諸島の下にプレートが沈み込む場所（南西諸島海溝）では、大きな地震はほとんど起きていません。一方、西南日本の下にプレートが沈み込む場所（南海トラフ）では、100 年から 150 年の周期で大きな地震が繰り返し発生しています。この違いはなぜ生じるのでしょうか。JAMSTEC では、地震の波を使って地下の構造を探る調査を実施してきました。そこからわかってきた、沈み込むプレートの様子とその違いを紹介します。